

IDCロボットコンテスト国際交流大会(IDC2012) 協賛趣意書

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

国際デザインコンテスト（IDCロボコン国際交流大会）は1990年に始まり、今年で23回を迎えます。現在、高専ロボコンやロボカップなど多くのロボットコンテストが開催され、小学生から大学生・社会人に至るまで多くの方がロボコンを楽しみ、ものづくり技術の伝承の場として利用されています。しかし、それらのロボコンでは、国別、学校別、団体別などで対戦するものがほとんどで、本大会のように各国の学生で混成チームをつくり、マシンを製作してコンテストを行うものは他に類を見ません。参加学生は言葉や文化・習慣の違いを乗り越えて共同でマシンを設計・製作することで、国際協調によるものづくりを疑似体験することができ、学生の創造性と国際感覚を養う実践的な経験・教育の場となっております。

2009年の第20回記念大会は東京電機大学にて、世界7カ国48名の学生を集め、開催いたしました。2010年大会は中国の上海（主催：上海交通大学）にて開催し、最終競技会は上海万博会場にて開催いたしました。2011年度はアメリカのボストン（主催：マサチューセッツ工科大学）にて開催いたします。

本年度は、東京電機大学が足立区北千住駅前に新キャンパスを創設したことを記念して、再び東京電機大学主催にて開催をすることになりました。IDC2012実行委員会、ならびに、東京電機大学においては、今夏の開催に向けて、準備を進めているところであります。

つきましては、平素よりご支援頂いております皆様に、IDCロボコンの趣旨をご理解頂き、大会の開催是非とも格別のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

IDC国際実行委員会 会長 山北昌毅（東京工業大学 准教授）
IDC2012実行委員会 委員長 畠山省四朗（東京電機大学 教授）

— IDC2012実行委員会 —

<大会長> 古田 勝久（東京電機大学 学長）
<委員長> 畠山 省四朗（東京電機大学 教授）
<事務局> 東京電機大学未来科学部ロボット・メカトロニクス学科 釜道 紀浩
〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
TEL: 03-5284-5600 FAX: 03-5284-5698 E-mail: nkama@fr.dendai.ac.jp

— 協賛金募集要項 —

- ①協賛金の金額：（共催）100万円単位 （後援）10万円単位 （協賛）1万円単位
- ②協賛金の使途：IDCロボットコンテストの開催費用として使用いたします。
（主に、コンテスト運営費、海外学生の滞在費です。）
- ③ご協賛の方法：上記のIDC2012実行委員会事務局へご連絡をお願いいたします。

